

Imaging Team

掲載内容

商品情報

- ・Meta Imaging Series Software Version 7.8.0 がリリースされました

技術情報

- ・LCI 社製磁気浮上除振台 MagLevit のご使用にあたってのご注意
- ・Zeiss 正立型顕微鏡 AxioPlan2 の Windows 64bit 環境でのご注意
- ・Zeiss Axio Imger2、Axio Observer の MetaMorph での設定のご注意

その他の情報

- ・Disc Conforcal Calculator のご紹介

商品情法

・Meta Imaging Series Software Version 7.8 がリリースされました

メンテナンス期間内の SystemID は、下記 URL からアップデートファイルをダウンロードして、Meta Imaging Series をバージョン 7.8 にアップデートすることが可能です。

<http://www.meta.moleculardevices.com/updates/>

こちらで ID 番号を入力し、Log-in 後、「7.8 Update」をクリックしてください

* 32bit OS をご使用の場合「MM780-32.zip」、64bit OS の場合「MM780-64.zip」となります

また、7.8 より Windows8 でのサポートを開始いたしました。ただし、**Windows8 でご使用になる場合は Version7.8 のインストール CD でインストールする必要があります**がございます。

<ftp://ftp.meta.moleculardevices.com/pub/uic/software/MM78/>

上記のサイトを FTP サイトで開いていただき(ご使用のブラウザにより操作が異なる場合がございます)、Installer データをダウンロードしていただくか、当社営業担当までお問い合わせください。

主な変更点は、下記になります。

Camera Driver Updates

浜松ホトニクス

ORCA Flash 4.0 USB モデルをサポートいたしました

Device Driver Updates

National Instruments NI-DAQmx

TTL シャッターコンポーネントでの光源制御において、AOTF コンバイナと同様の ICS ウィンドウでの制御を可能といたしました

ThorLabs MLS-203

ThorLabs MLS-203 をサポートしました

Installation

Windows8 でのインストールをサポートいたしました

MetaMorph Application Updates

ICS

シャッターが閉じている状態で Intensity 調節用のスライダが動作しないように修正しました

Move Stage Only to Absolute Position

不具合の改善を行いました

Run User Program

Stream 撮影の開始にユーザーが作成した Visual Basic のプログラムを走らせることが可能になりました。

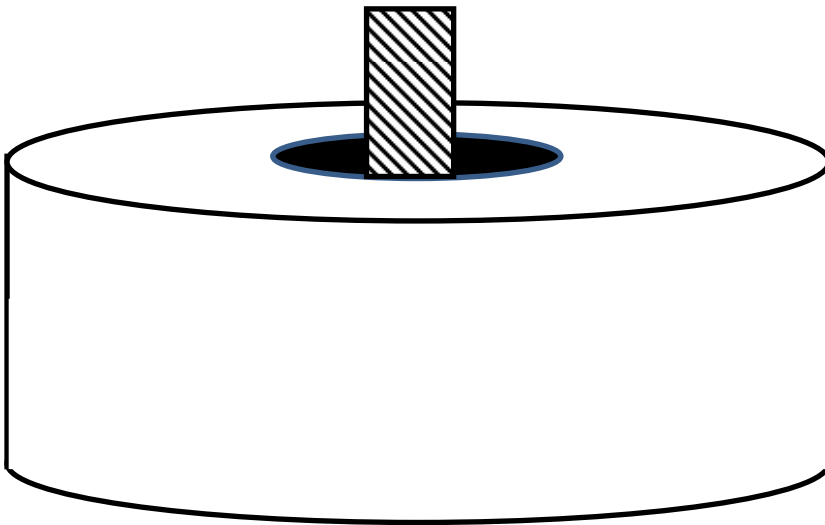
技術情報

LCI 社製磁気浮上除振台 MagLevit のご使用にあたってのご注意

安価で高性能、かつメンテナンスフリーという利点でご好評いただいております本製品ですが、セットアップ時に下記の点にご注意ください。

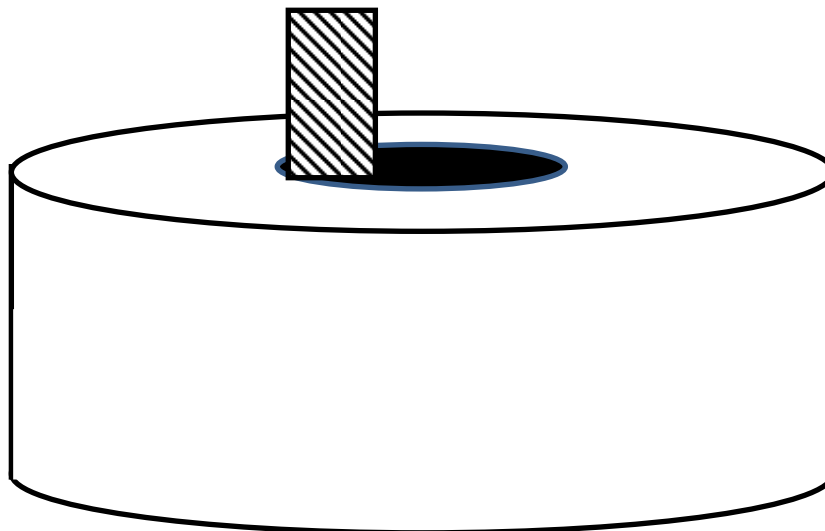
ダンパーとプレートを繋ぐボルトが、ダンパーに触れたままご使用になられると除振効果が著しく低下致します。

弊社より出荷時には下記の紙面を添付させていただきますので、納品時、デモ時にはご注意ください
ますようお願いいたします



Good:

左図の状態であれば効果的な除振効果を発揮します



Bad

左図の状態の場合、ボルトがダンパー本体に接触する為、ダンパー外装から振動がプレートに伝わりますので、ダンパー本体を少しずつ手で動かしながら上図の様に調整してください

Zeiss 正立型顕微鏡 AxioPlan2 の Windows 64bit 環境でのご注意

Carl Zeiss 社製の正立型電動顕微鏡 Axio Paln2 ですが、こちらは同年代の倒立型電動顕微鏡 AxioVert と違い、64bitOS に対応していません。

現在 Carl Zeiss 社製の電動顕微鏡は現行品の Axio Observer、Imager2 と一世代前の Axio Vert は Zeiss MTB2011 と呼ばれる Zeiss 社製の電動顕微鏡用コンフィグソフトウェアでサポートしておりますが、Axio Plan2 のみ、非対応となっております。

MetaMorph ではこの MTB2011 ソフトウェアで認識できるものしかドライブできない為、現時点では Axio Plan2 の Windows 64bit OS でのサポートができません。

AxioPlan2 のユーザー様は発売当時から年月が経過されているため、MetaMorph をご使用の方は PC の更新時期が間近になられている方もいらっしゃるケースが多いかと思いますが、現時点では Windows7 32bit までのサポートとなりますので、ご検討の方及び、ご提案中の方は、ご注意ください

Zeiss Axio Imger2、Axio Observer の MetaMorph での設定のご注意

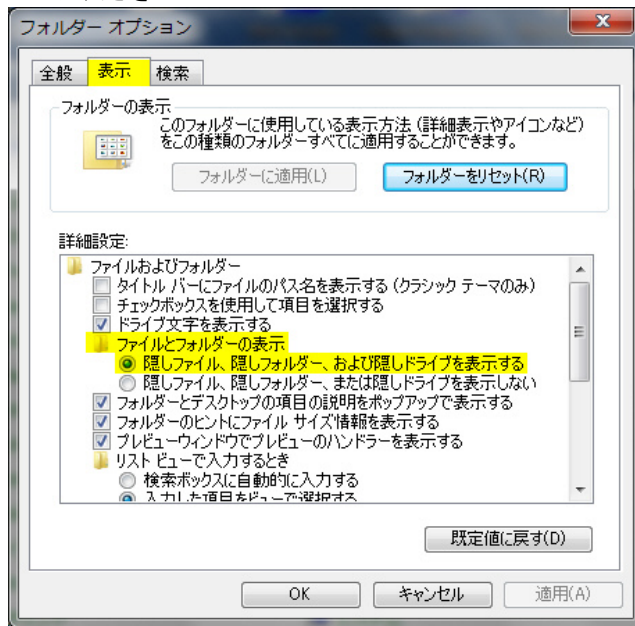
Zeiss 社製の現行品である電動正立型/倒立型顕微鏡である Axio Imager2、Axio Observer ですが、こちらを MetaMorph でご使用になれる場合、初めて設定を行うとき、また、現在使用しており、対物レンズ等を追加登録、変更を行う際、Zeiss のコンフィグソフトウェア” MTB2004 Configuration”，や”MTB2011 Configuration”にて変更、設定を行うと、それ以降 MetaMorph において Z フォーカスモーターだけ認識しなくなります。

その場合、以下の操作を行っていただく事で不具合が解消いたします。

①コントロールパネルからフォルダオプションを選択してください



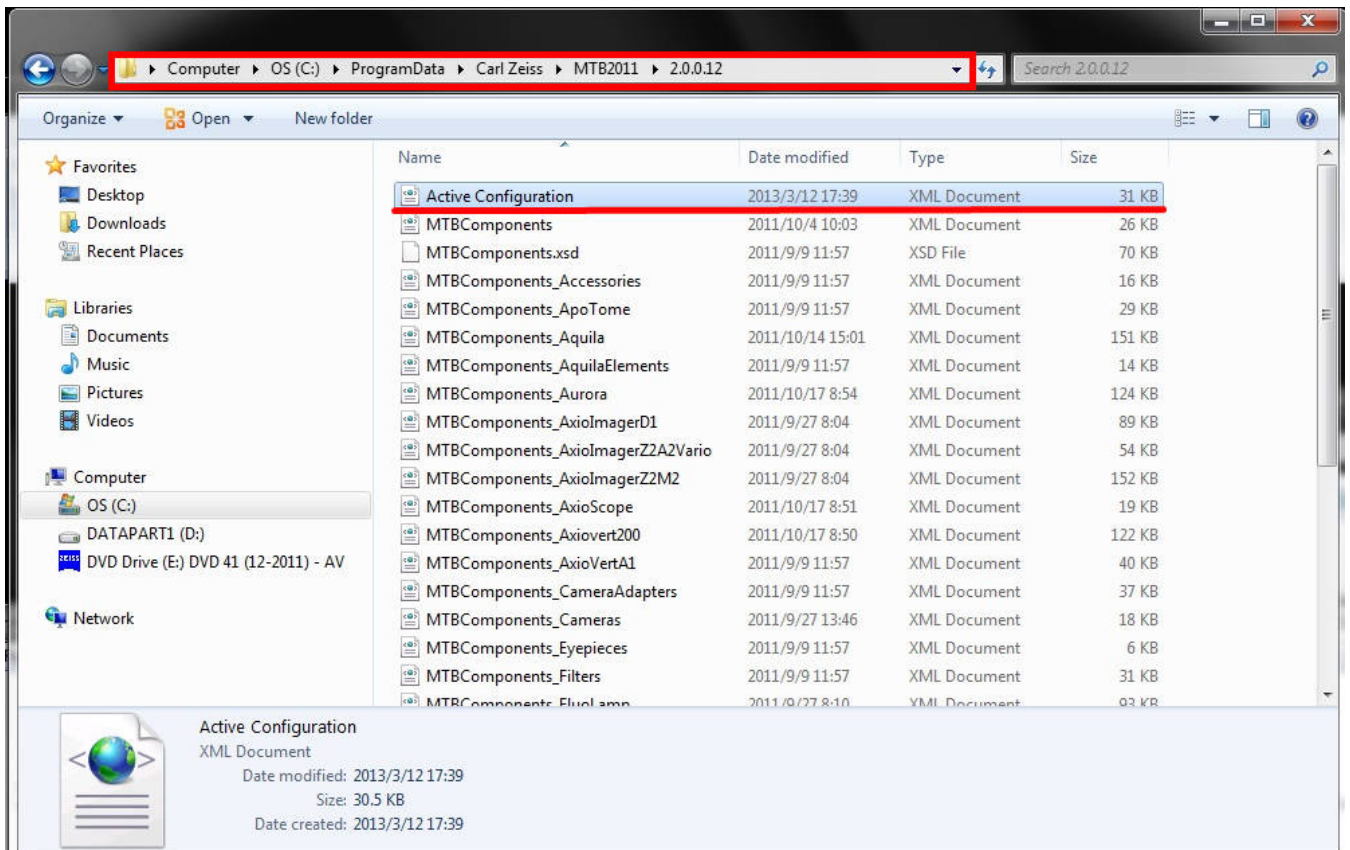
②下図にならって、隠しファイル及び隠しフォルダーを表示するように設定を変更してください



③C:\ProgramData\Carl Zeiss\MTB2011\2.0.0.12

(* 注意 MTB 以降のサブディレクトリの番号はインストールされた MTB のバージョンにより異なります)

のディレクトリにある Active Configuration ファイルを右クリックで”プログラムから開く”を選んでいただき、ノートパッドで読み込んでください。



③下図のようなリストが表示されますので、4か所ある" μm "と記述されている箇所を" um "に変更してください

```
<Component Class="MTBctrlFocusAquila,MTBKernelAquila" Name="Aquila.Focus_mot" MTBId="MTBFocus" CANId="0F" MyChildId="
<Motorization>2</Motorization>
<SimulationClass>ZEISS.MTB.Simulation.MTBSimPhxAxis</SimulationClass>
<Simulation>
  <TypMovementTime>0.01</TypMovementTime>
</Simulation>
<PositionScales>
  <ADRange Min="-14000000" Max="14000000" MaxDeviation="0" TypDeviation="0" stepwidth="10" />
  <ScaledRange Unit="um" Min="-14000" Max="14000" />
</PositionScales>
<PositionSpeedScales>
  <ADRange Min="62" Max="6000000" />
  <ScaledRange Unit="um/s" Min="0.062" Max="6000.0" />
  <ScaledRange Unit="%" Min="0.0" Max="100.0" />
</PositionSpeedScales>
<PositionAccelerationScales>
  <ADRange Min="1" Max="10000000" />
  <ScaledRange Unit="um/s^2" Min="0" Max="10000" />
  <ScaledRange Unit="%" Min="0.0" Max="100.0" />
</PositionAccelerationScales>
<SpeedScales>
  <ADRange Min="62" Max="6000000" />
  <ScaledRange Unit="um/s" Min="0.062" Max="6000" />
</SpeedScales>
<CmdSetTimeout>30000</CmdSetTimeout>
<TriggerModes>TriggerOff, TriggerIn, TriggerOutOnListPosition, TriggerOutOnStep</TriggerModes>
<ObsPredec />
<TLPredec />
<RLPredec />
```

最後に変更したファイルを上書き保存することで終了です。これで MetaMorph で再度 Z フォーカスマーターを認識するようになります

その他の情報

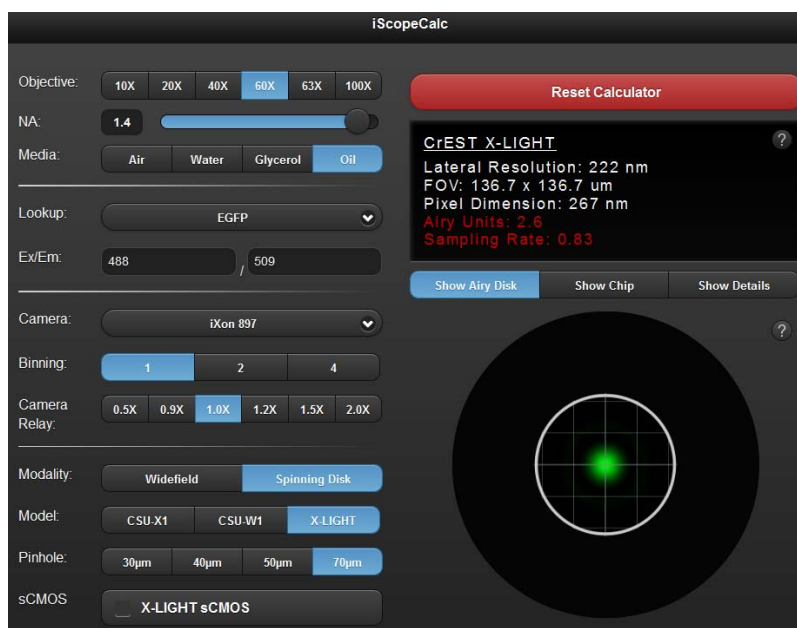
Disk Confocal Calculator のご紹介

X-Light や CSU など、ニポウディスク型共焦点ユニットをご使用中のユーザー並びにご提案されるディーラ様に対して非常に便利なツールがリリースされましたのでご案内いたします。

こちらはワシントン州立大学の Talley Lambert 教授が作成されたアプリケーションで、使用する対物レンズの各種パラメーター、使用するプローブ、カメラなどの情報を入力すると、撮影視野や解像度や各種撮影データが即座に計算されます。

iPhone、Android にも対応しておりますので、ご興味のある方は是非お試しください

URL: <http://talleylambert.com/iscopecalc/>



以上